



15年ぶりの「三芳町子ども議会」

平成26年度三芳町子ども議会 参加児童・生徒（平成26年度時点）

【三芳小学校】阿部凌汰（6年）・寒河江愛香（6年）

【藤久保小学校】横澤雄一（6年）・松島ひなた※副議長（6年）

【上富小学校】宮寺静香（6年）・森田夏奈（6年）

【唐沢小学校】榎本愛梨（6年）・稲村麻紀（6年）

【竹間沢小学校】新井裕基（5年）・天谷風々（6年）

【三芳中学校】小泉夢花（2年）・渡邊俊貴（2年）

【三芳東中学校】畠山桃花（2年）・角楯眞基※議長（2年）

【藤久保中学校】横田梨帆（2年）・寺島泰斗（2年）

三芳町の将来を一緒に考える

町制30周年の記念事業として平成12年8月11日に行われた三芳町子ども議会が、今年の1月31日、15年ぶりに行われ、子どもの視点から16人が町へ質問や意見、提言などをしました。

15年ぶりの子ども議会

—これから三芳町子ども議会を開会します。—

平成27年1月31日(土)の議会会場。いつもの議会の雰囲気と異なり、三芳町議会議員が座る席には子どもたちの姿がありました。この日、三芳町では15年ぶりに子どもが町の議員を務め、町に意見や提案などをする「三芳町子ども議会」が行われました。

みんなで考えよう 三芳町の未来

今回の子ども議会のテーマは「みんなで考えよう 三芳町の未来」。町や世の中で起こっている様々な出来事、自分たちの身の回りや将来のことなどを考え、子どもの視点から町へ質問や意見を出しました。

子ども議会の目的

大きく分けて次の4つの目的をもって行われました。

① 子どもたちが日ごろ思っていることや希望など、豊かな知性と感性から出された意見を町が聞き取り、町政に反映させる。

② 議員として議会を経験することで、町政や町議会の仕組みを学習し、政治や選挙について理解を深め、町政について関心を深める。

③ 子どもたちが様々なテーマについて話し合うことにより、社会についての理解や関心を高め、集団の一員としての自覚を深め、より良い生活や人間関係を築こうとする主体的、実践的な態度の育成を図る。

④ 子どもたちの学校での話し合い活動や議会での主体的な発言を促し、コミュニケーション能力、問題解決能力、情報活用能力など21世紀を主体的に生きるために必要な能力を育成する。

三芳町を担う大人に

議会の最後に、議長と副議長から「三芳町のよいところやほかの地域の人に知ってもらいたいこと、三芳町をより良くするための意見が多く出されました。今日、出された質問や意見の内容が、これからの町づくりにいかされ、三芳町が今まで以上に発展することを期待しています。

また、私たち小・中学生も、学校で、勉強やスポーツに一生懸命に取り組む、将来の三芳町を担う立派な大人になりたいと思います。」と、まとめの言葉がありました。

この日の質問や意見の一部を次頁で紹介いたします。三芳町の将来を担う子どもたちの声をご覧ください。